Chutan-Reha Support Center News

中丹地域 リハビリ支援センターニュース

Vol.006(2013.8)

編集担当：小幡彰一
TEL･FAX　0773-75-2094
E-mail　obata@chutan-rh.jp
http://www.chutan-rh.jp

＜内容＞

1　こんにちは、中丹西地域リハビリテーション支援センターです
2　リハビリ支援センターではこのようなことをしています
3　リハビリの相談窓口
4　ポジショニングやシーティング等の姿勢活動ケア相談が増加！
5　リハビリテーション従事者研修会のご案内
6　総合リハビリテーション推進事業の次期改定に向けて

1　こんにちは　中丹西地域リハビリテーション支援センターです

私たち中丹西地域リハビリテーション支援センターは、福知山市地域を担当し、市立福知山市民病院を拠点として、舞鶴･綾部市地域を担当する中丹東地域リハビリテーション支援センター（舞鶴赤十字病院）とともに日々活動しています。

私たちは中丹圏域においてリハビリテーションを必要とする全ての方が、住み慣れた地域で安心して、その人らしく生活が送れることを第一に考え支援します。

またその利用者様のリハビリテーションに従事されているご家族様、ケアマネジャー様、看護師様、介護福祉士様、ヘルパー様等にとっても、やりがいをもって一人一人の利用者様に応じ適切にリハビリテーションが展開できるよう支援いたします。まずは、私たちにお気軽にご相談下さい。

２　リハビリ支援センターではこのようなことをしています

ご存じでしたか？　ご連絡いただければリーフレットとともに、ご説明にあがります。

３　リハビリの相談窓口

介護・療育に従事される専門職のための

リハビリ相談窓口

ご相談はお気軽に。費用はかかりません。

http://www.chutan-rh.jp/

〈舞鶴市・綾部市地域〉

電話 (0773) 75-2094

FAX (0773) 75-2094

中丹東地域リハビリテーション支援センター

〒624-0906 舞鶴市字倉谷427番地
舞鶴赤十字病院リハビリテーション科内

■ご利用時間
[月～金曜日] 午前８時30分～午後５時
（土・日・祝日・年末年始を除く）

〈福知山市地域〉

電話 (0773) 22-2101

FAX (0773) 22-6334

中丹西地域リハビリテーション支援センター

〒620-8505 福知山市厚中町231番地
市立福知山市民病院地域医療連携室内

■ご利用時間
[月～金曜日] 午前８時30分～午後５時
（土・日・祝日・年末年始を除く）

４　ポジショニングやシーティング等の姿勢活動ケアについての相談が増加！

ご利用者（患者）様を取り巻く生活環境の調整は非常に大切で、この環境の調整次第でご利用者（患者）様の生活に留まらずQOLに影響を及ぼすことがよくあります。ポジショニングやシーティングもご利用者（患者）様の姿勢や活動をケアしQOLを高める上で非常に大切です。

中丹圏域においても従事者の方が、ポジショニングやシーティング等の環境調整の重要さに対する“気づき”を従事者の方ももたれ始め、リハビリテーション支援センターの相談窓口に「～様のポジショニングについて相談したいのですが・・」「当施設の職員に対してポジショニングのセミナーを行って下さい。」等のご依頼を多数お受けしています。

この**“気づき”は「介入」への大きな第一歩**です。ご利用者（患者）様を取り巻くさまざまな**“気づき”**を大切にしていただき、リハビリテーション支援センター相談窓口までご一報下さい。

５　リハビリ従事者研修会のご案内

在宅や施設、病院、診療所等でリハビリテーションに取り組まれている従事者の方（看護師、介護福祉士、生活指導員、運動指導員、ヘルパー、PT、OT、ST、ケアマネジャー等）を対象に研修会を開催します。本年度は東西2カ所で、２日間の研修を行います。

場所日時：中丹東地域；中丹東保健所（11月15日～16日）
　　中丹西地域；中丹西保健所（11月21日～22日）

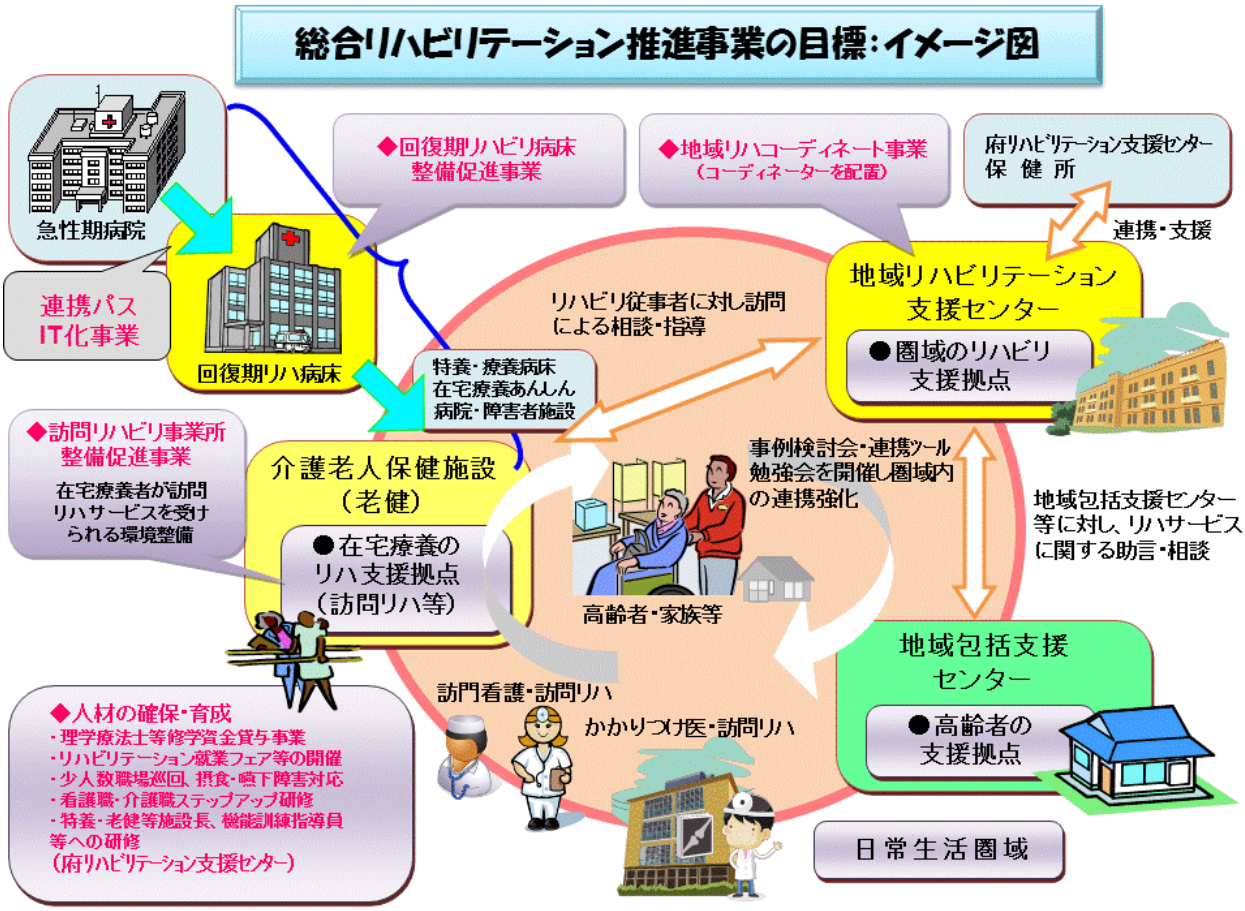
内　　容：第1日目　すぐに使えるROM練習・筋力練習・接触嚥下練習
　　第2日目　すぐに使える福祉用具・住環境調整・トランスファー

申込方法：保健所から郵送の研修会FAX申込用紙にて（9月頃に郵送予定）
　　（中丹地域リハビリ支援センターホームページの研修会案内にも掲載）

参加費　：無料

６　総合リハビリテーション推進事業の次期改定に向けて

平成23年度～25年度の京都府総合リハビリテーション推進プランにより、地域リハビリテーションコーディネート事業を進めてまいりました。本年度は京都式地域包括ケアシステムの基本政策の一環となり、平成26年度からの次期アクションプランの改定に向けて、事業評価の年となっております。つきましてはアンケート調査等を予定しておりますので、よりよいプランとなるように関係者のみなさまのご協力をよろしくお願いいたします。



【編集後記】

おかげさまで、中丹圏域では地域リハビリテーション連携推進事業が始まって10年余りが経過しました。近年では訪問リハビリテーションの事業所が増加したり（詳細はホームページ、連携推進ガイドを参照）、平成25年度から舞鶴医療センターが中心となり脳卒中地域連携パスの運用が開始され、、平成26年度には3市で回復期リハビリテーション病棟が整備完了予定など、随分とリハビリテーションを取り巻く環境は改善してきております。しかし、依然、医師不足や障害児者等の支援が希薄等の問題も残っています。2025年に到来する超高齢化社会にむけて、次期プランがよりよいものになるように、当事者や現場のみなさまに、さらにお声を上げていただき、それを目標に活動を続けていきたいと思いますので、今後ともよろしくお願いいたします。

【中丹東地域リハビリ支援センター　CD小幡彰一、中丹西地域リハビリ支援センター　CD田和靖成】